



タイガー100試験結果報告書



NT 株式会社 日本テクノ

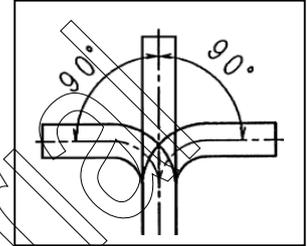
1. ホース屈曲強度

(1) 試験方法

ホースを左右各々90度の屈曲(1往復を1サイクルとする)を50,000サイクル行い、ホースの亀裂等異常の発生の有無を調査した。

試験温度: 25°C n=3 (屈曲速度 20 サイクル/分)

(2) 試験結果 亀裂等異常なし



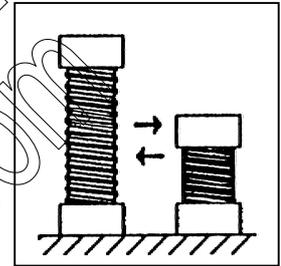
2. ホース伸縮強度

(1) 試験方法

ホースの伸縮の繰り返し(1往復を1サイクルとする)を50,000サイクル行い、ホースの亀裂等異常の発生の有無を調査した。

試験温度: 25°C n=3 (屈曲速度 25 サイクル/分)

(2) 試験結果 亀裂等異常なし



3. ホース引張強度

(1) 試験方法

ホースを長さ方向に200 mm/分の速度で引張りホースが破壊した時の最大強度を測定した。

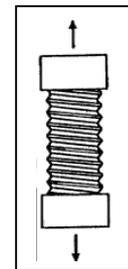
試験温度: 25°C n=3

(2) 試験結果 82kgf

78kgf

78kgf

X = 79kgf



4. ホース難燃性

ホース軟質部の材料はUL94V-HBに相当します。(別紙試験結果参照)

5. ホース圧力損失

別紙タイガー圧力損失線図をご参照下さい。

6. ホース耐薬品性

オレフィン系樹脂を主体とした原料を使用していますので、酸、アルカリには比較的影響を受けません。但し、有機溶剤に対しては樹脂自身が膨潤する場合があります。(別紙参照)

7. ホース耐熱性

使用可能最高温度は80°Cとして下さい。(瞬間的には最大100°Cです。)

なお、60°C以上で連続使用された場合、伸縮性能に支障が出る場合があります。

※ 以上は試験値であり、規格値ではありません。

耐薬品性試験結果一覧

試験方法 常温浸漬 200Hr 変化なし→○ わずかに膨潤→△ 大きく膨潤または溶解→×

薬品名	判定	薬品名	判定
アセトアルデヒド	△	シリコングリース	○
アセトン	○	シンナー	×
アニリン	○	水酸化カルシウム (飽和水溶液)	○
アマニ油	△	水酸化ナトリウム (20%水溶液)	○
アミルアルコール	○	水酸化ナトリウム (50%水溶液)	○
亜硫酸	×	水酸化バリウム (飽和水溶液)	○
アンモニア水	○	水酸化マグネシウム (飽和水溶液)	○
イソプロピルエーテル	×	スチレン	×
エチルアルコール	○	ステアリン酸	△
エチルエーテル	×	青酸	○
エチレングリコール	○	大豆油	×
エピクロロヒドリン	△	タンニン酸 (10%水溶液)	○
塩化亜鉛 (飽和水溶液)	○	テトラヒドロフラン	×
塩化アルミニウム (飽和水溶液)	○	テレピン油	×
塩化アンモニウム (飽和水溶液)	○	トリエタメルアミン	○
塩化エチル	△	トリクロロエチレン	×
塩化カルシウム (飽和水溶液)	○	トルエン	×
塩化第一錫 (飽和水溶液)	△	ナフタレン	×
塩化第二鉄 (飽和水溶液)	○	二塩化エチレン	△
塩化銅 (飽和水溶液)	○	ニトロベンゼン	○
塩化ベンゾイル	×	ソルマルヘキサン	×
塩化マグネシウム (飽和水溶液)	○	パークロロエチレン	×
塩化メチレン	△	ピクリン酸	△
塩酸 (37%)	○	ピリジン	△
塩素ガス (湿)	×	フェノール	△
オレイン酸	△	フタル酸ジオクチル (DOP)	△
キシレン	×	ブチルアルデヒド	△
蟻酸	○	弗酸 (48%)	△
クエン酸	○	フルフラール	×
グリセリン	○	フロン	×
クロルヌルホン酸	×	硼酸 (飽和水溶液)	○
タロム酸	×	ホルムアルデヒド (40%水溶液)	○
クロロホルム	×	ベンズアルデヒド	×
酢酸 (30%水溶液)	○	ベンゼン	×
酢酸 (氷酢酸)	△	メチルアルコール	○
酢酸アミル	○	メチルエチルケトン	△
酢酸エチル	△	綿実油	△
次亜塩素酸カルシウム (飽和水溶液)	○	酪酸	○
次亜塩素酸ナトリウム (5%水溶液)	○	硫酸 (50%)	○
四塩化炭素	×	硫酸アルミニウム (飽和水溶液)	○
シクロヘキサン	×	硫酸アンモニウム (飽和水溶液)	○
臭素 (液体、無水)	×	硫酸銅 (飽和水溶液)	○
重クロム酸ナトリウム (20%水溶液)	○	リン酸 (20%)	○
酒石酸 (飽和水溶液)	△	リン酸三ナトリウム (飽和水溶液)	○
硝酸 (10%)	△	リン酸トリブチル	×

🐍 タイガー100 据付手順 🐯

出荷時状態

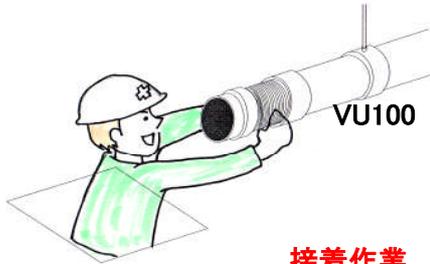


簡単に伸縮・曲げができ、その状態を維持します



コンパクトに縮めた状態(出荷時状態)でラクラク取付できます

①



接着作業
(塩ビ接着)

②



ソケット部
接着完了

③



開口部まで
引張ります

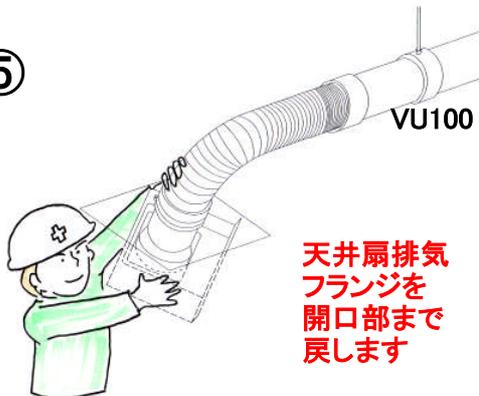
アコーディオンの
ように伸びます

④



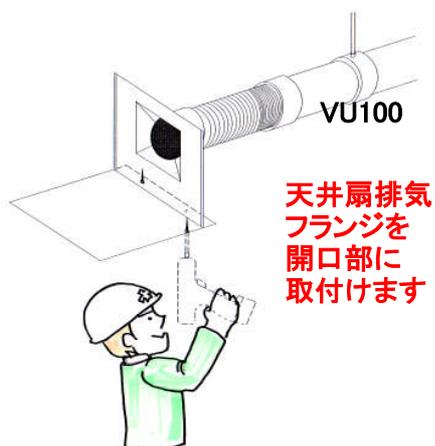
天井扇排気
フランジを
バンドで
取付けます

⑤



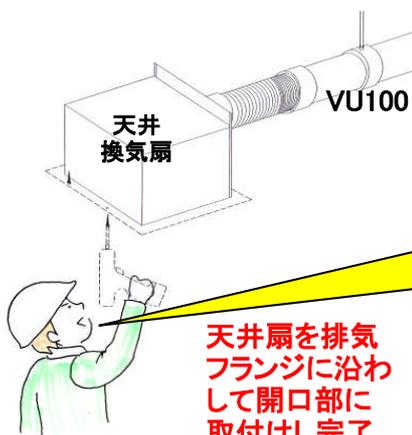
天井扇排気
フランジを
開口部まで
戻します

⑥



天井扇排気
フランジを
開口部に
取付けます

⑦



天井
換気扇

天井扇を排気
フランジに沿わ
して開口部に
取付けし完了

フレキホースを縮めたまま施工できる便利さは他にありません